

紙一枚の薄さで、鮮明画像。有機ELディスプレイの材料は、新日鉄グループの新日化から。約3億4,500万年前から、自然界で生成されてきた石炭。その化学構造には、驚くべき機能が秘められていました。石炭に含まれる化合物に手を加えて作られた有機ELは、電気を流すと発光してRed、Green、Blueの3原色を生み、それ自体がディスプレイになるのです。新日鉄化学(株)は、この特性に着目。石炭から作られるコークスの副生物を有効利用し、世界に先駆けて有機ELディスプレイ材料の量産化に成功しました。100ナノメートル(0.0001mm)という超極薄の有機化合物層を積層することで、液晶よりはるかに薄く、美しく、省電力のディスプレイを実現。すでに、ケータイやカーナビに有機ELディスプレイは採用されていますが、今後はテレビやパソコン、あらゆるモバイルを進化させ、ユビキタス時代を築く大きなチカラになることでしょう。一枚のとっても薄くて柔らかな透明フィルムが、「どこでもディスプレイ」になる未来。それはもう、SFではありません。

お問い合わせは新日鉄化学(株) Tel.03-5759-2829 <http://www.nsc.co.jp/>

ディスプレイの
新たな進化は、
石炭紀のおかげです。



新日鉄 <http://www.nsc.co.jp>